

# 第三者委員会議記録簿

平成16年度・春生会

施設長	兒玉 邦彦	出席者	第三者委員	菊池 フユ	岡 清子	司会者	兒玉 邦彦
			保育主任	後藤 礼子		記録者	長友 邦子
			通所主任	杉田 道子			
			訪問主任	志水 とも子			
開催場所	施設長室						
開催日時	平成 16 年 7 月 13 日( 火 ) 13 時 30 分 ~ 15 時 10 分						
議題							
1. 自己紹介							
2. 意見、要望等の解決のための仕組みについての説明							
3. 苦情報告							
各部門報告内容							
保育主任	<p>・H16年4月13日付けで県福祉サービス運営適正化委員会に苦情申し立てのあった件について          一時保育を利用した児童が顔をかみつかれた。相手の親に報告してほしいとのことだったが、          そのような対応をするのは不適切であると考え、報告しなかったところ納得してもらえなかった。</p> <p>・休日保育を利用した児童がかみつかれた件について</p> <p>・職員はかすり傷であると判断し応急処置をしてすませた怪我だったが、親からは病院に連れて行くべきであったとの意見があった。</p>						
通所主任	<p>・希望山荘入所者の後見人より、薬の処方依頼する時期が早すぎるとの意見があった。</p>						
訪問主任	<p>・訪問介護の利用者宅前の家から駐車場を借りていたが、奥様からの了解は得ていたがご主人への説明が不十分であったため、ご主人からの苦情があった。</p>						
その他	<p>・配食の弁当を食べたらおなかを壊した。</p> <p>・配食のため路上停車してある車が邪魔である。</p> <p>どちらも匿名での意見であったため、思い当たることをあためてみたが該当するものはなかった。</p>						
協議内容							
<p>・ 噛み付き事故を起こす園児は、夜間保育や休日保育を頻繁に利用している子どもである。噛み付きはストレスや欲求不満が原因となることが多い。朝早くから夜遅くまで園に預けられ、家で過ごす時間の少ない子どもの精神状態は不安定になっている。そのことに気づいていない親もいるので、適切なアドバイスが必要なのではないだろうか。</p> <p>・ 極端に人なつこい子どもや甘えてくる子どもは愛情不足である可能性が高いので、噛み付きなどのトラブルを起こさないように特に気をつけておく。</p> <p>・ 最近では、話しても理解してもらえない親が増えているので、苦情が起こったときの対応の仕方にも十分気をつける。</p>							
特記事項							
特になし							